(一)　第百四號　日曜日　京城日日新聞　大正九年十月十七日

京城日日新聞

社說
お祭騒と民族性

本日は神嘗祭にして且つ京城神社の祭禮なり、京城市民(内地人)は今日より明日に掛けて全くお祭騒ぎの民と化し、京城市は今明兩日は全くお祭の市と化するなり、吾人は之を機會に祭禮の上に現れたる民族性に就て一言せんとす

日本に於ては各市町村に各種の神社多きこと寺院佛閣に譲らず其數より言はゞ、歐米の教會堂よりも盛なり神社の數に於ては恐らく世界第一なるべし、是れを以て多神教を奉ずる民族なるが故なりと論斷するは未だ日本民族の性情を充分に研究せざる者の早計論なり、固より神社種類の多き上より考ふれば多神教崇拜の結果なりとも言ひ得ざるにあらず而も之に依りて超人間的威物を崇禮して宗教的情操を滿足するは一種の詩的と見て可なり、寧ろ是れ民族の性情美を顯るものと言ふべきなり、殊に日本人は忠君愛國の殉難者や、英雄豪傑を初め高德の人々を神格化して之を神社に祭り以て國民景仰の標的となす美風あり、又日本人は各町村に必ず氏神なるものを祭り日夕之に參詣して宗教的情操美の滿足を得るのみならず、毎年秋に入り五穀の實るを待ちて大祭を行ふ習慣あり、之が爲日本の各町村は秋に入り常に賑ふが例にして、日本の秋に於ける氏神祭は七月十五日の盆祭と正月三日と併稱して三大式日とし之を樂む國風あり從て年秋に行はるゝ京城神社祭の如きも此國風の然らしむる所なり、故に日本に神社の多きを以て單に多神教徒なりとして之を排斥するは、未だ日本人の性情美を解せざる門外漢の言として吾人は之を一笑に付せざるを得ず、神社の在る所は寺院佛閣と同じく必ず森林美あり、清流美あり、日本人は神社に參詣して單に宗教的情操美の滿足を得るのみならず、是に依りて自然美を味はひ、詩的情操を養ひ、亦德性を涵養するものなり歐米人の道德と性情美は教會に依りて涵養さるゝ如く、日本人の道德と性情美は神社佛閣に依りて養はるゝものなり、神社既に多し、故に祭禮從うて多し殊に秋祭に至りては最も大仕掛に行はるゝが例なり、大都會に於ては比較的お祭騒ぎ少きも、田舍に至る程お祭騒ぎ多し、彼等は此一年一度の秋祭に依りて田舍の單調味を破り、田舍の社交を親密にする機會ともなるなり、又此祭禮は日本の古式を其儘に行はんとするものにして日本の古代風俗保存の一ともなるなり、此祭禮は所謂お祭騒ぎとして騒ぎ廻る者なるを以て混雜を免れず、又古代の幼稚的習俗も[illegible]に發露せらるゝ嫌あるを免れず、而も所謂お祭騒ぎの混雜の中にも儼然たる秩序あり亦日本人の陽的性格を發揮し亦樂天性を發揮し快濶ぶりを發揮し日本人の勇ましさを發揮す、其幼稚的の中には日本人の勇氣と尚武の氣象と[illegible]とを發揮す、然して此お祭騒ぎの全體を通じて現れたるは、敬神の念と清淨と勇ましさとなり、恐らく日本人の一般的民族性は此お祭騒ぎに依りて最も美しく現はるゝと言ふべきなり故にお祭騒ぎは一面より見れば滑稽至極なるも亦一面より見れば日本人の民族性を涵養するに最も大切なりとも言ひ得るなり

朝鮮人の中にも支那人の中にも神社佛閣は社會外に放逐されて人間と全く沒交渉なり、神社の類あるも神社らしきものとしては孔廟と關羽の廟位の事なり、神社に類するものに烈婦の祠所々にあるも、醜體視されて何人も顧みざるが例なり、其他我神社に類するものあるも多くは道の淫祠にして最も幼稚なる多神教の對象物なり、然して是等孔廟も關廟にも參拜するもの無く常に廢壇の姿に陷り居れり、又淫祠の如きも野花を備ふるもの無く、旅行人の息休め所に止まり居れり、故に朝鮮人も支那人も宗教的何等の情操美を認め難し、彼等の多くは現實計りを追ふて其日を暮す極端なる現實派なり、彼等は神社佛閣を無視せり、故にお祭騒ぎなるものも餘り行はれず、若しお祭騒ぎなりとせば孔子祭と關羽祭と豐年祭位の事なるべし、孔子祭は官邊と儒生間に儀式計りの式行はるゝのみにして一般の社會とは沒交渉なり、關羽祭は一般の社會を樂しむ風潮あり、稍日本の氏神祭の如き趣なるも大都會のみにして田舍には殆と行はれざるなり、豐年祭は田舍にのみ行はるゝものにして農民祭りとも言ふべし、一般の社會とは全く沒交渉なり、然して是等お祭騒ぎに現るゝ所は亂雜不秩序、幼稚、陰氣、野蠻、不潔、喧騷にして朝鮮人支那人の劣性と不潔性と陰氣とを遺憾無く發揮して殆ど南洋土人のお祭り騒ぎに似たり、お祭り騒ぎの上より觀たる朝鮮人や支那人は宗教的情操の極めて幼稚なると共に民族性の極めて幼稚劣等なることを發揮して餘りあり吾人はお祭り騒ぎの上にも、日本人と支那人朝鮮人とは、文化の程度と民族性の上に於て大なる差異あるを認む、而も日本人のお祭り騒ぎ中には往々にして餘りに蠻的の野習見るに堪へざるものあり、是等は漸次改善を加へて文化の程度と民族性の如何を疑はるゝことも無からんことに注意せざるべからず、要するに日本のお祭り騒ぎも大に改善を要すること多々ありと信ず、京城神社の祭日に敬神の意を表すると共にお祭り騒ぎの改善に論及す。

比律賓紀行(六)
小林 淺吉

船が錨を下すと間もなく、二名の稅關吏が遣つて來て、諸船の手續きに取懸る、余も手荷物委託、旅行免狀の提出等の手續きを濟まして一服喫してゐる處へ今村君が稅關のボートに便乘して出迎ひに來た稅關棧橋から上陸し、手荷物の檢査を待つて、午後一時カルテラ(馬車)に乘り同君の住所をさして車を急かした、馬車はインタラモース(舊城内)に這入り、壁に沿うて寺院、比律賓群島政府の上下兩院の前を、通過して、城内を突抜けパシツグ河に架した鐵橋を渡つてエスコルタ街に出て、ロサクオ、アスカラガ街を通過し棧橋から十一里足らずのトンド區フランコ街に余等を下した、此邊は日本人の漁師の住んでゐる地域で戰丁行くと海岸に數多の日本漁船が繋留してゐる

今村君の宅は、瀟洒な木造西洋家屋二階には露臺が設けてあつて、其の前には前栽があり、横手前には大きな活動寫眞館がある、露臺に面した通りは中央に遊歩地が設けてあつて、芝草の上には椰子、檳榔樹、芭蕉、アカシヤ其の他數種の熱帶植物が植ゑてある、小町足らずの先は海岸で、泥沙搦く遠らなり、海岸には、ペンカ(獨木舟)や日本漁船が砂の上に引上げてある、家屋は土人町の事故洋式木造家屋と二ツパ家屋とが相半し、餘程醜觀を致いて居る

政界茶話
白 羊

▲昨今官僚連中の暗中飛躍は頗る猛烈ちやが、中には暗中飛躍を業として居る連中もあるので、政界では又かと一笑に附して居るのもある。

▲時勢がこうなうては迚も在野黨の出來る餘地がない、すると此際在野黨連合でも策して其内に割り込まふといふのぢやよ、だから野黨の大聯合で一番油の乘るのが官僚ちや。

▲昨日も俺の處へ或政界の通人がやつて來て官僚の必要な暗中飛躍振りは恐ろしい位ぢやと言ふてたよ。如何に失政百出しても、二百八十名の手勢の手前、原もそう易々と去り兼ねるからう

▲併し行く處まで行けば夫は自ら開ける、只焦つた處で仕方がないよ、俺は人と違つて憲政會などは政友政黨の廻つて來るまで默言でもして居れば良いと思ふよ、官僚と一所に集るのは大禁物ちや。

小品
失戀と功名の祭壇
…紅雲氏の小星を讀んで…

蝸牛仙人

予は戀を斥けず。家庭を排せず。併し乍ら、人若し永遠に若からんと欲せば、願はくば戀する勿れ。戀するもの願はくば速に其の戀を忘れよ。素より戀は美しきものである、家庭は神聖なるものであると云ふ事を肯定するに躊躇せぬ、併し乍ら、戀を破るならば、家庭を捨つべくんば、唯功名の爲にせよ。此の意味に於て、予は大那翁の強かつたことを賞讃する。彼はジヨセフインを戀した、そして其の戀を遂げた。其の戀は蜜の如く甘かつた。けれ共彼は佛蘭西の帝王たらんが爲に戀を捨てゝ墺太利の内親王と結婚した。人或は言はん、功名の爲に高き戀を捨つるは卑俗なる事だと——されど予は堪え難き悲しき戀すらも、功名の爲に[illegible]の如く捨て去つた彼の偉大を想ふ。

日日歌壇(投稿歡迎)
ムウンライト
浮 一

澄める秋空に充てる月、
しろがねのその光りに
秋の夜なれば
誘はれて病み人は漂ひ出でぬ。
願さへも滿足に觸れて
魂に傳ふ戲の音よ。

創作
熱光の下を(三六)
曉 谷

「待て。お前は歸るのか」

「いゝえ。歸ります」お糸が泣出した。俺は彼女の手を握つたまゝで

「歸らねばならぬ事情は無いぢやないか。待て。歸るなら歸るやうに立派にはなしをつけてからにしろ。二度目には歸る、歸ると云ふが、何も歸る許りが女の能ぢやあるまい」俺は、こう言ひ乍ら、着物をお糸の手から引つたくつて無理やりに引き摑えた。

「何も彼も濟んで了つたのぢやないか。歸るの戻るのと言つて騒ぐにや當らないぢやないか」

俺は再び言つた。お糸は簞笥の抽斗の中に搔き亂した着物に顔を埋めて泣いてゐたが、

「貴郎も餘りですワ。例へ何事も起らないとした處で、貴郎の着物を質に入れて、妾だけが滿足な風をして居れますものか。とても出來ないワ。迚も。」

「そりやお前の勝手の注文ぢやなかつたか。もう二三日待つて呉れと云ふのも聞かないで、今取つて返せ、今日で無けりや不可ないと何故言ふのだ」

「……。斯うなつたら迚も居れません。迚も……しくして居られません」とお糸は云つた。

「ぢやお前は、最初からそんな計ひをして[illegible]たんだな。お阿母に[illegible]を[illegible]

さい、妾達は何も喧嘩して別れることは要りませんワ」

俺は眼を瞑つてゐた。迚も駄目だと考へたので「歸れ！仕方がない。歸れ」と低く言つた許りで、大きな溜息をついてゐた。

「妾は乾度歸つて來ますワ。もう一度歸つて來ますワ。それだから二人は何も喧嘩しないでも好いのです」

お糸は、先刻の着物を風呂敷に包んだあとで、俺の方に向き直つて、指輪を拔き乍ら言つた。

「この指輪はお返しして置きます」

「持つて行つても好いぢやないか。お前に買つてやつた物だから」

「いゝえ。いけません。後で兎や角言はれるのが嫌ですから、置いて行きます」

俺は、誰も後で兎角言ふものは居ないからと言ひたかつたけれ共、何うしてもそれだけの氣力が無かつた、

「これを持つて行け」と言つて、紙幣を出してやると、車代だけで好いからと言つて、お糸は辭退した。

「貴郎一人になつたらいろ／＼金が入るんですから持つてらつしやい。お母さんが來なさらぬ前に江津まで行きますから」お糸は落ち着かぬ風で身仕度をして扉の處まで來たが

「妾、廻り道をして行きますから貴郎ちよつと、誰か見てゐやしないか見て下さいな」と躊躇した。

「大丈夫だから、今の内に」俺は友人でも見送るやうな心持ちで云つた、

「お母さんには云はないで置いて下さいましよ」お糸は、俺に目禮をし乍ら出て行つた。

お糸は行つて了つた。俺は部屋に歸つて見たが、餘りに飽ツ氣ないやうな氣がした。マンマとお糸の口車に乘せられたやうな氣がして、呆乎としてゐた。

俺達は別れて了つたのだ。これ丈の事で別れて了つたのだ。お糸は俺の手から去つて了つた。もう永遠に歸つて來ないのだ、と三度思つた。「もう永遠に俺の處にや歸つて來ないのだ」と云ふ結論に到達すると急に寂しくなつて來た。

今になつて考へて見ると、或は俺の結婚は誤つたものかも知れぬ。哀れな因襲によつて、何等理解も常識もない女と、誇大された媒介者の世話で結婚して、こんな理由から別れて了ふなんて。寧ろ當然すぎる事ぢやないか。こんな明白な理由が一體何處にあらうか。俺が幾年か精神生活が立派だの、藝術の意義が高遠だのと勿體振つた處で、お糸の奴は俺の描いた油繪を見て「ちつとも綺麗ぢやないワ」位で恬然としてゐるぢや、クラシツクもアイデアリストも三文の値打はない。

内・外・電・報

炭坑總同盟決行

英國炭坑夫は炭坑主の提議を容認すべきや否やに關し總投票に問ひたるに賛成十八萬一千四百二十八票反對六十三萬五千九十八票の結果を示し炭坑夫大會の實行委員は總同盟罷業の決行を宣言し罷業は愈よ十七日を以て開始さるべし（倫敦來電）

對支借款問題協議

對支借款問題に關する會合は十一日より一週間開會英國側は英蘭銀行總裁米國側はラモンド佛國側はショーム日本は正金銀行竹内頭取を首席代表者とすべく四國側代表者十六名なり會議事項は支那の一般的事件新借款鐵道運輸の發達方針借款團代表者の新借款の使途に對する監督の擴張及び新借款の交附前に擔保剰餘金にて該借款の償却に充當せんことを要求するの件等其の範圍頗る廣汎なり（倫敦來電）

伯林新聞總休刊

伯林諸新聞社の職工同盟罷業は益々險惡を告げ專門職工は罷業者に代つて勤務することを拒絶せし爲め社主側よりロックアウトを喰ひし社主側は今回の罷業を以て獨逸商業上最も重大なる關係ある主義上の問題なりと主張し斷じて職工の罷業に同情せざる態度に出で目下熱心に伯林市内に共同經營の一新聞を發行せんとつゝあるが尙ほ必要に應じ市外にも同様の新聞を發行せんとする意氣込みである職工側は之に對し賃金の增加現勞働者團體の交涉權及び同情罷業權を主張し現に中產階級に屬する職工の同盟罷業者及び解雇中の職工數は一萬六千に及べり（伯林來電）

反過激派運動熾烈

倫敦タイムス紙のワルソーよりの報道として報せる所に依れば勞農露國に於て反過激派運動の最近來特に高調さるべき筋の報道に依ればサラトフ地方に於ては大規模の叛亂を企て共產派軍隊は今日迄の所暴動を鎭壓する能はずシモレンスの地方にても農民の叛亂擴大しつゝありと又支那人より代る軍隊は大激戰の後クロムスタットの暴動を鎭壓したりとの報あり（倫敦來電）

ウ市政治的中心

ザバイカル洲國民大會は「ネルチンスク」に於て開催「ウエルフネウーヂンスク」市を政治的中心地となすに決定せり（哈爾賓來電）

北京は極めて平穩

政府は張作霖氏其他の政治運動に對し上海より發せられたる報道は何れも虛報にして北京の形勢は極めて平穩なる旨を公式に發表せり（北京來電）

李督軍の他殺説

支那政界昂奮狀態に陷る

李純の死は今尙ほ秘密に包まれ支那政界及び諸新聞は歎欸的見解を持し他殺なることは明かなりと稱し居れり李純の死は支那政界を擾亂なる昂奮狀態に導き政界に甚汎なる反動を及ぼすべしと上海來電

冬季尼港撤兵宣言

陸軍省發表尼港は本年初春殘虐なるパンチザンの手に依りて焦土と化し多數の住民は著るしく衣類無く食ふに食無く困窮其極に達し正義人道上目視するに忍びざる所より帝國陸軍は公正なる人道に基き尼港に到着以來鋭意治安の維持に努め生活の安固を保障し以て福祉の增進を圖りたるが此の方針は將來と雖も渝る所無し唯全部破壞の慘狀を呈せる時に冬季警備隊を駐屯せしむることは住民の越年一層困難なるに陷るべき實狀に鑑み一度出兵を撤して來春を俟つことに決せり住民能く帝國の趣旨を諒として本冬季間極力一致して治安の維持に任ぜむことを期望す（東京來電）

太平洋に要塞企劃

陸軍省は目下太平洋ヨウホウメン要塞建築に付き調査中なり（東京來電）

孟團長罷免さる

孟團長は十三日免職されたり（北京來電）

重要問題伏奏

原首相參內

原首相内田外相は昨十五日宮中に伺候し琿春出兵其他の重要問題を伏奏し委曲を奉答せり（東京來電）

關税引上運動

羊毛業者は外國品の輸入を防ぐべく關税引上運動を開始せり（東京來電）

南方使節派遣

張作霖氏の渡日に對し南方よりは前江西督軍陳炳焜氏を其使節として派遣すべし（上海來電）

滿鐵社債發行

滿鐵會社は一千五百萬圓の社債を發行せり（東京來電）

三元老

參內協議す

山縣松方西園寺の三元老は十五日午前十時半相前後して參內大臣府に於て中村宮相と會見何事か協議せるが多分内大臣問題なるべしと（東京來電）

政務局長兼任

政務局長芳澤謙吉氏は西伯利局長を兼任することに十五日の閣議に於て決定せり（東京來電）

匪團三分山口に迫る

支那軍隊戰はす後退し

馬賊は俄に優勢となる

十六日午前十時三十分 朝鮮軍令司部發表

九月廿七日馬賊討伐の爲め三口を出發したる支那軍隊約五百名は三口南方約五里なる〇〇に到着し該地附近に在りし約六百名と相對峙し十月三日に至る迄彼我何れも砲火を交へず只睨み合の形勢を持續しありしが十月三日支那軍隊の三哨に引揚ぐるや該馬賊は附近の馬賊と合同し其數約二千に達し合一部を以て露領二黑山、大平川、老黑山及通溝に移動せり其目的は三分山口を包圍攻擊せんとするにありと言ふ尙は馬賊團中に露西亞過激派殘黨約三四十名混入しあるは確實なり（十五日ニコリスク發電）

間島馬賊續々南下

天寶山危險を傳へらる

琿春方面の馬賊は今や大荒溝に集まり其數四百位の者は間島の馬賊は續々天寶山を過ぎて南下しつゝあり天寶山危し（濟津來電）

三道溝巢窟を燒く

十四日我軍三道溝の不逞鮮人を討伐し其の巢窟を燒きて十餘戶を燒却し數名を逮捕したり彼等は口を緘して何事も語らず（濟津來電）

孟部下馬賊に變ず

孟團長部下の兵士は孟の免職に憤慨し皆馬賊となり不逞鮮人是に加擔し我軍と一戰せんとする模樣あり（濟津來電）

支那隊長拉去さる

陶道尹增兵隊を急派

支那側に達したる情報に依れば馬賊隊の一部は大荒溝支那工兵隊を襲ひ隊長を拉去したる外同兵悉く亦……

索敵行動愈々開始

吾軍意氣天を衝く

……化せしめたる陶道尹は兵二百五十名を同地に増援急行せしめ其の補充として今明日中に延吉縣より支那兵約八十名琿春に來るべしと（慶源來電）

鐵林小將は琿春附近の馬賊團及び不逞鮮人團の根據地を掃蕩する目的を以て討伐隊を組織し之を三隊に區分し十四日夜半より各行動を開始せしむ十五日は東京に於て陛下より我聯隊に軍旗を親授さるべき目出度き日に相當するを以て聯隊長以下何れも赫々たる武勳を奏して光輝ある軍旗をして益光輝ある歷史を造らんと意氣天を衝くの槪あり而も諸隊の衛生狀態は良好にして未だ一名の病者さへ出さず討伐の第〇隊は牧大佐是を指揮し騎兵工兵砲兵の一部又其指揮下に入れり又大佐は十五日未明出發不逞鮮人の巢窟なる〇〇溝◇◇溝方面に向ひ又阿部少佐の率ゆる第〇隊は馬賊團根據地△△溝を中心として大掃蕩をすべく十四日夜半出發又第〇討伐隊は十五日拂曉迄に◇◇溝▲▲▲を結付けたる三角形に是を包圍すべく十四日夜出發したり第〇討伐隊には向騎兵小隊先頭となり行々敵狀を搜索し第〇討伐隊には騎兵工兵の若干及び野砲兵の一部是に屬せり（慶源來電）

我騎兵長途行軍

公主嶺駐劄騎兵第〇〇聯隊〇〇〇名は〇〇日東方〇〇〇〇〇方振に向つて長途行軍を試みる爲多忙を極め全軍の士氣大いに擧ふ（公主嶺來電）

北鮮聯合大會決議

＝十五日午後朝鮮軍司令部着＝

琿春事件に對し本日茲に北鮮各地聯合大會を開き左の通り決議せる を以て之れが目的を貫徹する樣盡力相煩度候也を乞ふ

今回事件は古今未曾有の重大問題にして之が解決の如何は帝國々運の進展と國威の宣揚に關す

帝國は此際斷乎たる所置に出で根本的解決の關鍵を樹立すると共に間島及北鮮在住邦人保護の爲め出征軍隊をして永久的に間島琿春に駐屯せしむるの緊張なるを認む

右決議す

朝鮮總督 北鮮各地聯合大會

加州排日の眞相

（下）

＝其根本的解決策＝

劍 樓 生

侵略的なりとの印象は單に米國くないのに限定するは勿論であるのみならず、世界一般の人々に與へたる惡印象なれば、一時も早く之れを取除くことは我國が世界の舞臺に立つて活躍するに對し、絕對に必要なる條件である。更に日本移民の

……が注意すべきは米國の政治組織である。云ふ迄もなく米國は各國人種の展覽會場であつて世界各國の人種が雜然として居る。從つてイタリイ人にして米國市民權を有する者も多數ある。故にも

不同化の

人望を失

問題は日本し殘酷政治家にしてイタリイ系市民の排斥を主張せんか、彼等は直に移民自身に責任あるは前述の如くイタリー系の市民のなれども然し乍らそれは日本移民に限れる問題では無い、中部のシカゴ東部のボストン、ニューヨーク等に於ける歐洲移民即ちイタリイ人の如き同じく本國の風習をそのまゝに持ち來り居るも、太平洋岸に於ける日本移民の如く大問題とならない、之れはイタリイの風習とアメリカのそれとの差異は、日本のそれとアメリカとの差異程甚しくは無いからである……

奇捷を得

……それよりもむしろ日本移民を排斥して他の移民より多數の投票數を獲得することは政治家として利益である。民主共和兩黨の大統領候補者が何れも聲を高くして日本移民の排斥に贊成するも、亦太平洋岸選出の議員フェーランジョンソンや加州知事スチーブンス氏等が排日を主張するも全く此れに依る前回の大統領選擧戰にてウヰルソン氏がヒユース氏を打破りて勝つたのも加州の投票數を獲得したのに依るのを思へば加州は主要な州である。勿論何れ加州も主要ではあるが……然らば如何にして市民權を獲得し得るか排斥して止まぬ米國が果して人種的差別を撤廢するか、之れは一見不可能なことのやうに思へるが、然し眞に米國の國情を知れる者は必ずしもしか思はないやり方次第にては必ずしも不可能なことではない。米國は面白き國柄であ……

反撥力を

國境氣温降下

十五日に烈風砂塵を捲き國境地方一帶南温著く降下せり（慶源來電）

極東の統一難

セ將軍排斥さる

チタよりの報道に依ればニキフオロフ氏は滿洲里驛に於て後貝加爾鐵道の職工代表者と會談中、目下前政府の主なる目的はセミヨーノフ軍とカッペリー軍との消滅にありて、而して、是れが消滅には兵力を以てする考へはなく、只新チタ政府部内に共產黨分子を多數入るゝにありと、ニ氏の云ふ處に依れば近々交迭せらるべきチタ政府に於てはモ特軍の主張する處に就ては哥薩克兵及農民の代表者として、自ら其の委員たらんとせしがニ氏は全然之に反對し勞働者中より選出せられたる共產黨の人員を以て該政府に入れんと努力しつゝありと、

極東に於ける共產黨は極東の平和統一よりも只偏に自黨の利益のみを考へ他を排せ斥んとしつゝある狀況なれば、目下の處にては統一問題は實現の見込覺束なかるべしと觀察せらる。

チンメルマン辭職眞相

最近浦鹽臨時政府の財政部長チンメルマン氏辭職したるが、その理由は、勿論浦鹽政府財政の行詰りに基因するものにして、破產に瀕しつゝある財政が來て今日までその命脈を保ち來れるは、一つにチンメルマン氏の手腕に俟つことありしによることにして、殊に頃チンメルマン氏は、五億の紙幣發行權を主張し本年中の財政を支持するの方策を定めたるが新紙幣の相場は逐日下落して、該五億の紙幣、增發を以てしても到底財政を救濟する能はず、極東の經濟上の回復を待たざれば、之を救濟するの見込なきに至りたるを以て流石のチンメルマン氏も辭職するのやむなきに至りしなるべし、然も浦鹽政府としては、今後の財政上の難局に處する上に於て同氏の辭職は非常なる打擊にして、目下の露政府部內否や極東に於ては財政家として氏の右に出るものなきを以て浦鹽政府に於ても極力留任を勸告し……

國費造林業績

大正九年度四月より九月に至る京城營林署國費造林事業實行狀況を聞くに植栽面積六百六十四町步苗木如きは九十九萬二千七百七十九本種子三石にして此經費一萬三千百四十三圓三十七錢三厘なり因に樹種はクスガハンノキマカマツニセアカマツ等なり

鮮人思想の推移

惡化寧ろ覺醒と言ふ可く

憂ふ可きは國境の警備

前警務局高等警察課長 白上佑吉氏談

鮮人の思想惡化は近時內地に於て頻に喧傳されるが事實は殆ど危險視されるに至れるが事實は決して然らず惡化と云ふよりも寧ろ稍覺醒して進化の道程にあると云ふを至當と信ず何となれば昨年三月萬歲騷ぎを演出したる當時の如き鮮人の大部分は獨立の何ものたるをも解せず只譯も無く附和雷同したるに過ぎざりしが今日に於ては大に其の趣を異にし如何なる村老婦女と雖も獨立の意義を解するに至れり、然れども此の獨立思想の瀰漫を以て直に一般鮮人の思想惡化と斷じ危險視するは早計に失す。國民的自覺は世界の大勢にして鮮人が無自覺の境より稍覺醒したりとて敢て異とするに足らず

思想惡化

國境守備

……

惡夢より

稍行惱

吉會鐵道の現況

馬賊討伐と伐木事業

大倉組重役 式村茂氏談

毛皮相場昂騰

示威運動

京城夏蠶減少

齋藤總督東上

河內山局長東上

全鮮穀物商大會

朝鮮農業創立

辭令

人事

臺灣暴風被害

一面エキス

不可能なこと

商況

京阪金利 / 日銀帳尻 / 鮮銀券日報 / 仁川期米特電 / 東京期米特電 / 大阪期米特電 / 十六日大阪入電後場 / 十六日東京入電前場 / 京株市場出來値 / 出來高 / 給仕入用 京城日日新聞社

三面論壇

小兒を有する母へ
小兒保護の不注意は一種交通機關の妨害なり

吾人は過日中山竜（九つ）が電車のことと…で轢かれることとて…悲慘なる轢死を遂げた「當時であると云ふべきで實際に於て避」兒女を有する父兄へ」の題下に幼けるだけの猶豫の無い場合がある兒の單獨遊歩の危險なることを述べ條に今回の慘事は南大門通で此邊べき禍を未然に防ぐべく一般の父の通路は人道と車馬道の區別もあ兒に忠告する所があつた。然るにり、自動車の通行する上に於て何その甲斐もなく今回又復大谷キヨ等の危險が伴ふべき筈はないのだ他よりの注意を聞く迄も（七つ）が自動車の爲に轢き殺された歩行者が歩道を歩みさへすれば車自ら注意すべきことでなくてはなのである。斯の如く僅々廿日に足らぬ間に併も可憐なる二個の

生靈を

空しく失はしめたることは吾人の最も遺憾に堪へない次第である。今回の如きも元より法律上の罪は運轉手にあるが實際上の罪は本人及其父兄の不注意にある譯である、現狀を目撃しなかつた吾人は明確なる批判を法律的見地の上より斷定することは出來ないが、聞く所に依れば當時自動車は車馬の交通頻繁なる爲特に注意して徐行しつゝある際突如として走り出て前面の道路を横斷したと云ふ之に徴して見れば被害者キヨは何かの遊戯に沒頭し

有頂天

となつて道路上を走つて居たものであらう、充分の注意の下に殊更に徐行しつゝあつた自動車に轢かれたとは餘程突然に走り出たものであつたに相違ない。吾人は本町通り其他の繁華な街路上に於て心も空に遊び戯れて居る多數の子供を見かける。更に明治町や旭町其他の三四等道路を歩いて居るやうに多數の子供が遊戯し居り、荷馬車や自轉車に脅かされて居るのを眼にする、而して是等に依つて生じる小事故は日に何件と云ふ多數に上るか知れぬ。吾人も車上屢々かゝる不意の兒童の出現に遭遇して心膽を寒からしめることは實に再三に止まらない

此場合

轢かれぬ者…

道に百萬臺の自動車が疾走しやうとも歩行者には何の危險もない筈だ之と反對に軌道の上に寢ころて汽車に轢かれたからとて何で文句が云へやうぞ、茶碗を石の上に落して其茶碗が破れたからとて石が堅い爲に破れたのだからその石が惡いのだとはあまりに

勝手な

云ひ分である、云ふ迄もなく落した者の罪だ破れたもの、損だ、大切な茶碗ならば

らない筈だ、隣に火事があつたら火の用心をするが如く可憐なる二個の犧牲は子を持てる親生きたる教訓であらう。前車の覆へるを見て後車の戒めと爲せば前轍を再び踏む者もあらばそは取るに足らざる大馬鹿に過ぎない、吾人は比隣一般父兄の兒女に對する交行上注意を嚴重ならしめられんことを望んで止まないと同時に一方交通警察の取締實行の確實を望むものである。

ウカ〳〵と石の上に茶碗を落さぬが如い破れた茶碗を合せて見ても取返しはつかない如く、いくら泣いても歎いても死んだ子供は永久に生返らないからである故に吾人は茲で忠言を各父兄に對して呈したのであつた、幼兒に保育者を附せずして單獨遊歩せしむることは躁いてくれろと希望するに等しきものなると同時に交通の妨害である

危險な

なるかを思ふ時幼兒單獨遊歩の結果が如何に

滿都歡樂に包まる
京城神社秋祭の賑ひ
宵宮祭に幕を開け

神寂びたる境内は
五彩眼も眩ゆく美し

昨十六日は京城神社秋季の大祭のひて宵宮祭にて天滿宮御本社へ渡御の儀式を擧行されたるが早朝五時先

神氣爽々

たる裡に齋主祭員御禊し沐浴して身心を淨めたる祭員參列員總代を裝飾し齋主祭員參列員總代丁一同祓ひ所に着床し極めて嚴肅裡に先修め祓ひの儀式に移るや先づ祓主祓詞を白して大麻を執り鹽湯司鹽湯を執りて神輿、神饌、祭具、齋主、祭員、祭典委員長同委員其他の參列者輿丁を祓

御扉を

ひて祭殿に着床し齋主く奏樂あるや隨員平伏する間に神饌を獻じ齋主祝詞を奏し次に串を獻じて拜禮し參列員總代拜禮し神饌を撤して齋主御扉を閉ぢ再び神輿を奉じて御本社拜殿に奉安し再び神饌を獻じ齋主祝詞を奏して以下順次に拜禮の都合に豫定通り無く終りたり

同午前七時よりは御社殿裝飾を終りて齋主御扉を開き神饌を獻じ祝詞を奏し終りて

玉串を捧

げ御扉を閉ぢ樂の下に奏樂ありて退下せり

通路制限

混雜防止の爲め

有志寄附

の煙火二百

本日は午前八時より

總督官邸

前より日の出町に出て日の出小學校南側より

秋晴の空高く

煙花き地に人波
國旗提灯繪傘の街を
肅々と渡御する御神輿

其前景氣素晴らしき

救護班も設置

迷覽を出すな

餘興行列

の心得は

御旅所に



……殿奥社神……

總督の獻上品

種々を携帶

尼港殉難

石田領事夫人遺物のコート現はる

武力陰謀の結社
獨立團幹部以下十六名逮捕さる

花柳界の今昔譚（四）

娯樂機關の欠乏してゐた京城

曾根サンに賴んで長唄の家元招聘

藝不足は心細いもの

全く花柳界の女將語る

紅燈私語

ロマンス

シベリヤに泣く女

眼も當てられぬ貴折檻

「女」の弱きもの は汝なり

江を渡る

六不逞漢

を追跡捕縛す

破綻す

安部幸商店

負債額三千萬乃至五千萬圓

挻春事變に

拉去された良民

全部殺害さる

お座附の一つ

討死する覺悟

古刀を揮

飛んだ

爆彈騷ぎ

釜山市民臆をつぶす

不敵の强盜團逮捕

持兇器脅迫出沒變幻

被害總額一萬餘圓に達す

苦心した龍山署の大手柄

檢疫廢止

旅客出發地

一部に限り注射證明不要

意外なる

唐辛子を盜み

兇器を揮つて

女師範生

教師に罵倒されて縊死す

戶口調査

主魁は已に

五里霧中

食堂列車の丼

類は頗る好評

全滿庭球團遠征

運動界

日宗兒童教育例會

對釜軍野球戰

葉兒二件

聯合運動會へ寄附

小栗判官 照手姫

旭亭 樓山 口演

（百一）

山奥で美人の歌舞

九郎之を聞きまして九「ア、さうでござつたか、何事の使者かと思ひ粗略の取扱を致して相濟みません、アヽコレ誰かある敷物を二枚持つて來て、兵助殿大八殿へ敷物をお直し申せ」○「ア、お頭、何處へお据ゑ申します」九「好い其れの太郎殿次へ敷物二枚敷いて其れを兵助殿大八殿のお席と致せ…サア、どうか兩名とも敷物の上へお直り下さい」兵「エ、斯かるお手厚き待遇を蒙りましては恐れ入ります」九「イヤ〳〵御辭退なさるといふ事は宜しくない、先刻から御兩名の樣子を見る所、眼中鋭く人を射る如く、確に山稱殿山賊殿何れも豪傑と見受けます、何うぞ其れへお直り下さい」どうも此のぜる

山寨などに住居を致して居りますと斯ういふ盜賊共を爭ひましたり總ての事が仰々しうございます、熊の皮の敷物を二枚持つて來て其れへ敷きました、兵助大八「然らば御免下さい」と此に着座を致した九「酒がある、酒肴の用意を致せ」ハツと答へて、室の酒屋から運んで參つた酒肴、其れを座の眞中へ持ち出し盃を引き提げを拔いて柄杓を付け、其酒を皆大きな物へ汲んで呼る、肴は熊の肉もあれば鹿の肉もある、中には又蒸て長い物が宜からうと思ひます、味噌漬などが出來て居ります、九「どうぞ御客人心置きなく飲んで下さるやう」兵「有難う存じます、シテ唯今申し上げましたるは、何と御返事を下さいませうか」九「左れば、土佐ばかりではござらん、伊豫にも又讃岐の方にも我々と氣脈を通じて居るものが澤山ある、何時でも旗揚げが出來る。軍用金は相當にござるから御安心なさらぬ樣に、併し此方は四國で起れば、何んでも本土の方で先に蜂起

げをして下さらなければならぬ」ら、どうか出根意九郎殿から、宜しき時期に御通知下さるやう、何時でも御通知次第直に旗揚げを致すでござると仰せ聞かせの程を願ひ度う存じまする、併しながら何も、さう客人急いでお歸りになるにも及ぶまい、此山寨に五六日御逗留下さるやう」兵「有難う存じます、吾々は何もさう急いで歸らんでも宜しいので、其れに是から讃岐の方へ參り、阿波へ廻つて見たく思ひますから、暫らく此方に御厄介になる心算でございます」兎角致して居ります内に、深山の美人が其れへ出て來りて、樂器のやうな物を持つて來て、頻りに搔き鳴らし唄ひ始め、又一組は舞を舞うて見せるといふ趣、兵助大八は之を見

て心中に不屈な奴等だ、天下の御爲めなどゝ云ふ事を口に致して、良民の金を奪り、人の娘や妻を引攫つて自分の意に從はせる、今に見ろ此奴等、片ツ端から退治して呉れねばならぬと睨つて居る、處へ小賊が一人やつて來て○「ヘエお頭申上げます」九「何だ」○「唯今お客人がお歸りになりました、此方へ御案內致しませうか、夫とも又奧の居間の方へ御案內致しませうか」九「イヤ待つて居た、其れへ御案內を致すが好い」○「然らば御案內を出りまする」雉子のやうなものを五六羽提げ、弓矢を持つて歸つて參りました一人、後藤兵衛は見るより心中に驚いた、それは笠間八郎の弟の笠間次郎政次、入つて來た政次も兵衛を見て吃驚しました。

演藝案内

喜樂館 本町壹丁目 電話五九七番
來る十月十五日より特別大興行 パテー會社 日活向島派の大作品 悲劇 散り行く花 全五卷 嗚呼忍び泣く涙の女が胸に潜む悲しき悶へに一片の同情、寄せられたる佳人の爲め一夕の御高覧を乞ふ
米國パテー支社大傑作 冒險大活劇 電光石火 全卅一卷 第一編黑覆面の木片第二編を續く、五卷上映若し此の出事とすべき大活劇が日本での出來事とすればパール嬢の演ずる電光石火の役人は正に彼女の如き可憐な美貌で、悲劇を得意とする同嬢が日本に扮する人物に興味を溢れ其の可憐なが如何に如何に可きもので、お光とでも抗すべき大可… 京都派 新派悲劇 茶屋美人 笠森お仙 全七卷 谷中は笠森稲荷の鳥居際に、お仙の茶屋と云ふのがありしたお江戸の美人、美人の一例に數へられたお仙がいロマンスを殘しれずれて幾多の小唄にも歌はれた今に尚ほ供の手にも謳はれていた物語

黄金館 黄金町 電話二六六・三六七
國活會社特約 來る十月十五日より晝夜二回興行 第四回大公開 名畫「パール・ホーア會社作「原」 特に米國パール嬢主演 活人劇 第一聲 全五卷 名女優ジャツキーサンダース嬢出演 說明者 泉 春葉 エメラルドの美しい瞳みを有した乙女は父親の溢るゝばかりの慈愛の手に育てられて我儘勝手なお嬢様で有つた類を造りし神樣の御手は不思議にもモリーと彼女を結び付けらるイ事となつた然るに此の神秘の秘な夫幽谷の神秘は果して彼女の神秘に如何程の利益が生れるか 來に押村四郎五郎一派 舊劇 田宮坊太郎 第十八、十九、二十篇上場
新派 現代 金名 血潮の鳴戸 全五卷 生駒山の麓を彷徨する不思議な男の物語は限りなき慾望に燃えて居た 彼の髮は茫々として蓬の如く。年に似合ぬ白髮の多きは恐らく數々の辛苦のかたみで有らう額に現はれて居る。大波 彼は憐々人々を射るが如き眼光と對して呪ふが如き淚を漂はせて居る人々は彼れを泊來乞食と云つて居た毎日

大正館 櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 夜開館 來る十月十五日より特選大寫眞提供 新派 實寫「佛國人東洋奇術」「ニコノヽ」「愛犬の復讐」尾上松之助大奮鬪 舊劇 白旗八郎 全四卷 源家の一族片岡直衛は子なきを嘆き八幡に祈願し一男を授り名を白旗八郎と命名す長ずるに及び父の志を繼ぎ源家の公達牛若丸に會し旗と せる痛快劇 米國ラスキー映畫 ペギーハト、ウオーカ嬢主演 悲劇 孤松の棧道 全五卷 性に目醒めたる乙女の歡喜、清純なる戀の香を漂ふ深山のローマンス 東京及大阪朝日新聞選載 渡邊霞亭氏大傑作 悲劇 黑水晶 全六卷 山本、東一派の大努力劇にして戀に破れし青年太一は欲然牛乳配達より身を起し後ち杉本一家を呪ひ茲に大波瀾を捲起したる悲痛慘憺なる者が半生の心血を傾注せる千古不滅の大悲劇 每月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

朝鮮郵船